

2014

特別定価 ¥530
次号14年2月号は
1月14日発売です

1

付録
絶版車
カレンダー
2014

BG

Buyer's Guide

愛の
絶版車
Special
生活

2&4
DREAMS COME TRUE
バイク乗りの"夢"

本誌 USED
特選 BIKE 情報

盛況 USED PARTS
情報も盛りだくさん!

T.L.C Tender Loving Care
Z2&CB550Four レストア
市川仁が絶版車を新る CBR1100XX
マニアックバイクコレクションNow



②エンジン分解状態でも施工を行うグローバルデザイン。クランクケースなどにはありえない様なマスキングが必要だし、下処理のプラストにも神経が行き届く。ここがプロたる由縁です。③外装、エンジン、キャブレター——1台を仕上げるための塗装は多岐に渡る。塗料により仕上がりに差が出るので、予算も関係するのでスタート時の計画が非常に重要。④新品よりも遙かにレベルが高く高級感漂うプロ仕事。メーカー製品レベルに準じての施工も可能。自分の理想に近づけるために技術者との綿密な打ち合わせが必要。

対価を払いたくなるこれぞプロの「技」

す。四輪塗装とは技術的に異なる部分が多く、価格比較のみでのシヨップ選びは難しいことを肝に銘じておいて下さい。

例えば自身で作業を行うという事は、プロシヨップの経験や知識を含めて「0」ということです。皆さんは色々な職業についていますよね。その作業の中で色々な経験や知識が給料に代わる、これがいわゆる「仕事」って奴です。どうですか? 他の職業の方がネットや雑誌だけで集めた情報で良い仕事出来ますか? 出来ませんよね。まあ個人レベルであれば「安全で人に迷惑がからない」という事さえ厳守すればあとはそれはそれで良いとは思いますが。

例えば自分でプラスト打って、缶スプレーで塗るとかね。もうちょっとグレード上げたければ、ガンと熱源買って焼きつけとか、もっと質感を上げるなら結局プロシヨップって事になりますよね。そこまで行ったらお互いに良く打ち合わせをして納得いくレベルでオーダーをする。価格もね、一台丸まるなら人間だからおまけは当然あると思います。そういうのも含めて人間付き合いってもんじゃないでしょうか。ウチはそんなので成り立ってるし(笑)、長く付き合えそうなんだと理解できれば(友達になる人ね)当然何割か安くしちゃったりするし無理も聞ける。人間ってそんなもんです。

さて、てんやわんやのこの時期にびっしり小物までの施工をするグローバルデザイン代表、エンジン

ンのマスキングを漸々と行っておりまして、我々の業界って精神集中して地味に続ける仕事が多いです。社屋も拡大して仕事のキャパは広がっても、どうやったら質を落とさないでいられるか? 零細の私が思うにトップがしっかり作業をする事、やり続ける事、これに尽きるとは思います。小さな会社にお客さんが何を求めてきてくれるのかと言えば、主に作風がユイザーのセンスと近い事や代表者の仕事ぶりだと思っております。

しばらくたつたグローバルデザインから小物類が納品されました。ん、いつもながら黒々としてカッコいい! 自分の車体と一緒に、アタシら専門店の中古車ってこの車両と同じく細々とした所まで手を入れて初めて中古車です。コストもかかるから売値もそれなりに高値だけと、仕事等で時間が無いライダーには助かるらしい。ありがたい! 気合入ります!!!

さて、スイングアームの下処理に入ります。ピボットシャフトに錆が多かったので、下手するとクリスが飛んでサビサビだらうな……と思つてピボットカバーを開けてみる。……やっぱ酷い! そもそもこの部分に錆があつてはイケないモノです。でも750系や1100SZ系って整備を実施するところなつていてる物が多いです。ちなみに経験上ですが、ピボットベアリングが良い状態を保てるのはカタナ系だと5000キロ程度しか保たない。後はやっぱリガタが出てくる事が多いです。